

公立藤岡総合病院附属外来センター診療予定表

平成24年10月1日 現在

診療科		月	火	水	木	金	
総合内科系 (新)新患 (再)再来 (循)循環器科 (呼)呼吸器 (血)血液 (腎)腎臓・リウマチ (糖)糖尿病 (神)神経内科 (甲)甲状腺 (消)消化器 (肝)肝臓 (煙)喫煙外来	午前	(新)河合	(新)神戸	(新)河合	(新)茂木	(新)河合	
		(新)佐鳥	(新)月田☆	(新)三原	(循)飯島	(再)壁谷	
		(循)植田	(循)井上	(循)山岸☆	(循)植田	(再)増淵	
		(呼)中川	(循)間淵	(循)小野	(循)須賀(俊)	(再)竹内	
		(血)外山	(呼)塚越	(血)斉藤	(呼)神戸	(循)小野	
		(腎)茂木	(血)神保	(腎)太田☆	(腎)河合	(循)山岸☆	
	午後	(糖)竹内	(血)宮澤☆	(糖)加藤	(消)秋谷	(腎)塚田	
		(神)柳澤	(糖)加藤	(神)柳澤		(糖)朱☆	
			(神)柳澤			(神)古田	
		(再)壁谷	(再)河合	(再)飯島	(再)壁谷	(再)飯島	
		(再)竹内	(循)飯島	(循)山岸☆	(血)神保	(循)間淵	
		(循)須賀(俊)	(循)井上	(呼)中川	(血)宮澤☆	(循)佐鳥	
心療内科	午前	(呼)中川	(呼)塚越	(呼)須賀(達)	(腎)河合	(呼)塚越	
		(血)三原	(糖)加藤	(煙)※塚越	(腎)月田☆	(血)外山	
		(腎)太田☆	(甲)森村	(腎)河合	(糖)加藤	(腎)塚田	
		(糖)加藤	(消・肝)壁谷	(消・肝)壁谷	(糖)久永(第2・4週)	(糖)加藤	
		緩和ケア ※柳澤 15時~16時			(神)柳澤	(糖)朱☆(第1・3・5週)	
					(神)古田(第2・4週)	(神)柳澤(第1・3・5週)	
	午後	五十嵐(孝)	高橋	五十嵐(孝)	亀山	五十嵐(孝)	
		五十嵐(孝)	高橋		亀山		
	小児科 (乳)乳児検診 (予)予防接種 (心)心臓 (内)内分泌	午前	川嶋	川嶋	小山☆	川嶋	川嶋
			高木	深澤	西田	堀越	相馬
		午後	10時~相馬			小坂橋☆	金苅☆
			(心)岡田(第2・4週)	川嶋	(内)小和瀬(第1・2・4週)	五十嵐(恒)	川嶋
外科 ()がん専門外来 (ス)ストーマ外来	午前	小林	谷	最上	設楽	熊倉	
		矢島	石崎(※第2週)	谷	五十嵐(昭)	森永	
	午後	(消化器)小林	(消化器)谷		(呼吸器)設楽	(消化器)熊倉	
		(呼吸器・乳)矢島	(消化器・乳)石崎		(消化器)五十嵐(昭)	(食道・胃)森永	
整形外科	午前	西野目	中島	西野目	中島	中島	
		久保井	勝見	大倉☆	大倉☆	久保井	
	午後	萩原	萩原	萩原	小野	萩原	
		小野	10時30分~装具外来	清水(リハビリ)	10時30分~装具外来	清水(リハビリ)	
脳神経外科	午前	山口	非常勤	田村		非常勤	
				※甲賀		甲賀	
皮膚科	午前	嶋岡	嶋岡	嶋岡	嶋岡	嶋岡	
	午後	15時~石淵	(手術)	(13~15時手術)	嶋岡		
泌尿器科	午前	内田	井上	曲	内田	武井	
	午後	内田	井上	加藤		武井	
産婦人科 (婦)婦人科 (産)産科 助産師外来	午前	(婦)吉田	(婦)延命☆	(婦)吉田	(婦)延命☆	(婦)須藤☆	
	午後	(産)延命☆	(産)吉田	(産)須藤☆	(産)遠藤	(産)吉田	
眼科	午前	石原	石原	石原		石原	
	午後	(検査)	(検査)	(検査)		(検査)	
耳鼻咽喉科	午前				※群大		
	午後	※14時30分~群大			14時~めまい外来		
ペインクリニック	午前	日野/荒井			午込		
	午後						
健診センター	午前	田村・山岸☆	田村・飯島	飯島	柳澤	田村・飯島	
	午後	飯島	河合	竹内	竹内・山岸☆	柳澤	
内視鏡	午前	GIF 砂長☆	GIF 砂長☆	GIF 橋爪	GIF 壁谷・森永	GIF 橋爪	
		GIF 壁谷	GIF 壁谷	GIF 壁谷	GIF 砂長☆	GIF 矢島	
	午後	CF 蜂巣☆	CF 浅尾	CF 橋爪	CF 田中	CF 橋爪	
		CF 井出 BF 塚越			BF 塚越・中川		

診療時間：8時45分~17時00分 ※は完全予約制
 受付時間：〈午前の部〉8時~11時 〈午後の部〉13時~16時 ☆は女性医師

■発行：〒375-8503 群馬県藤岡市藤岡942番地1 公立藤岡総合病院
 (代表)TEL 0274-22-3311 FAX 0274-24-3161 URL <http://www.fujioka-hosp.or.jp/>
 ■責任者 甲賀 英明 ■地域医療連携課 (直通)TEL 0274-22-6039 FAX 0274-24-7002



第11号 発行日：平成24年10月1日

特集

眼の病気(緑内障)について 笑顔美男、美女のススメ ジェネリック医薬品について



7月7日開催 ふれあい健康教室から
(藤岡中央高校吹奏楽部)

緑内障について

眼科医長 石原 克彦



緑内障は、40歳以上の20人に1人が罹患し、眼圧がその人にとって安全な範囲より高くなることで、視神経が傷み視野が徐々に狭くなる病気です。適切に治療されなければ失明に至る重篤な視機能障害をもたらす事も多々あります。病気の進行を食い止めるには【眼圧を下げる】ことが治療の基本となります。

眼圧とは簡単に言うと眼の硬さを測定したもので、眼の中を循環している房水という透明の液体の産生が増えたり、排出が悪くなったりすることでその数値が上がります。

緑内障の治療はまず点眼薬から始めますが、薬では十分に眼圧が下がらない場合もあります。その場合にはレーザー治療や手術で房水の流れを良くして眼圧を下げ、緑内障の進行を抑えるようにします。緑内障手術は以前より高精度になったとはいえ、白内障手術と違って2度、3度と再手術が必要になるケースもありますし、視力や視野が改善される訳ではありません。手術は最終手段で極力避けたいものです。そのためにはやはり早期発見が必要になってきます。

現在、人間ドックが広く普及しているように思われますが、未だに緑内障は中途失明原因の第二位を占めております。人により希望する人間ドックの検査内容は異なります。眼科の検査は視力検査のみを行い、緑内障が発見できる眼底検査を行うには追加料金がかかるという場合があります。今後、自治体レベルで協力して補助金制度を強化したり、疾患に対する啓蒙活動を行い、受診率を上げるなどの対策がなされるべきかもしれません。

緑内障の診断、治療、管理を適切に行うことは、人々の生活の質の保持の上だけではなく、社会の医療費負担の増加を抑制する上でも極めて重要であると思われまます。

笑顔美男、美女のススメ

笑い療法士2級 総合内科

副附属外来センター長 河合 弘進



私自身、気分が落ち込んでいるときに「笑い療法士」に出会い、その資格を得たことで大変救われました。以来、笑顔を手がけるとともに様々な場で笑いの重要性を話して参りました。今回ふれあい健康教室で、「笑顔美男、美女のススメ」というタイトルで話をする機会をいただきましたので報告します。

笑い療法士は、癒しの環境研究会が認定している資格で、『笑いをもって自己治癒力を高めることをサポートする人』と定義されます。現在600人ほど認定されており、全国津々浦々、様々な分野で安全な笑いを広めています。笑いは免疫力を高めるだけでなく、脳を活性化する効果もあります（中島英雄）。そんな効用を述べるとともに、自作の川柳を交えながら皆様と一緒に笑うとともに、死についても考えていただきました。

何となく生きている私たちですが、病気であろうとなかろうと、死はある日突然訪れます。であるならば、一日一日を大事に生きることが何より大切です。そして同じ生きるなら、笑顔で楽しく生きたほうが素晴らしいと思いませんか。

医療の進歩等により長寿社会を迎えたのに、後期高齢などという失礼な言葉があります。でも、物は言いよう、考えようです。後期高齢は好機高齢、高貴高齢と前向きに考え直して、有意義な日々を送りましょう。もともとの顔のつくりは変えられませんが、笑顔を手がけることで優しく穏やかな表情になります。笑顔美男・美女の誕生です。そして笑顔が周囲に広がれば、周りも明るくなります。（もっとも私なぞ、そのままで充分明るいといわれていますが?）

皆様も、今日から笑い療法士のモットーである「1日5回笑って1日5回感動する」を是非実践しましょう。そして、藤岡から日本を明るくして行きませんか！



ふれあい健康教室より

ジェネリック医薬品について

薬剤部室長補佐 兼 薬剤グループリーダー 橋爪 節子



ジェネリック医薬品とは、先発医薬品（新薬）の特許が切れた後に販売される、先発医薬品と同じ有効成分、効能・効果、安全性をもつ医薬品のことです。開発費用を低く抑えられることから安価で、患者さんの自己負担の軽減、医療保険財政の改善につながります。

現在、医療機関で出された処方箋をもとに薬局で受け取るお薬は、患者さん自身が医師や薬剤師との相談の上で、先発医薬品かジェネリック医薬品かを選ぶことができます。また平成24年4月の診療報酬改定により、一般名処方（成分名処方）が推進され、さらにジェネリック医薬品が使用されやすくなりました。薬剤師は医薬品に関する適切な情報を提供し、最適な医薬品の選定をお手伝いいたしますので、ぜひご相談ください。

TOPICS

化学療法室増築工事について

経営管理部企画財政課長 高柳 和浩



附属外来センターでは、化学療法を受ける患者の療養環境の向上を目的として、化学療法室の増築工事を行っています。

増築工事は、7月に着工し、今秋の完成を目指して進行中です。増築に伴い、附属外来センターの中央処置室の改修工事も同時に行います。工事中は、騒音等でご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、来院される皆様の診療に支障がないよう進めてまいりますので、ご理解をお願いいたします。

完成後は、ベッドの間隔も広がり、現在よりもゆったりとした環境で治療を受けていただくことができるようになります。より良好な療養環境を一日も早く提供できるよう、工事を進めてまいりますので、よろしくお祈りいたします。